



宮古・第一中学校との交流会

9月27日(木)、2年生が宮古市立第一中学校との交流会を行いました。

まずは、歓迎の合唱でスタートした交流会。2年生が『時の旅人』を歌い上げ、宮古・第一中学校の生徒の皆さんの心に響く合唱を披露して歓迎しました。

続いて宮古・第一中から学校の紹介をしていただきました。東日本大震災からの復興の状況なども交えながら、学校で力を入れている『あいさつ』『合唱』『ボランティア』についてお話を聞かせてくれました。アカペラで歌ってくれた『校歌』、そして合唱曲『群青』では、心のこもった歌声を披露していただきました。

宮古・第一中でも、本校の『5つの合言葉』に通じることを目指して学校生活を送っているのですね。

そして交流合唱では両校で『大切なもの』を歌い上げ、心の交流も行うことができました。続いて特設合唱部の2年生が『ドラえもん』も披露。少ない人数でも大人数に負けない歌とその姿に、感心しながら聴き入る宮古・第一中の皆さんの姿がありました。

最後に、宮古・第一中の皆さんからメッセージカードのプレゼントもいただきました。



今回の交流会では、東日本大震災津波の被災に負けないで、より素晴らしい学校を創っていこうと頑張っている宮古・第一中から学ぶ事も多くありました。今回の交流をきっかけとして、今後も両校で交流を続けながら、お互いが生活でも学習でも高まっていくことを願っています。

台湾国際交流事業 報告会

10月2日(火)に、台湾での国際交流事業『KAKEHASHI』に参加した、三年生の山本さちさんの事業報告会を行いました。主催者の盛岡青年会議所の方々にもたくさん来校していただきました。

山本さんは、今回の国際交流事業を通して感じたことを、8月の『わたしの主張』紫波地区大会でも本校の生徒の前で発表しています。自分が生活している今のこの日本の環境が、いかに幸せなことであるのかということ。当たり前だと思っていることが、外国では必ずしも当たり前ではないこと。世界には自分が思っている以上にコミュニケーションを取れる仲間がいること。様々な交流を通して、自分の『目・耳・口・肌』で直接体験してきたことを、写真を使いながら、再び全校生徒の前で発表してくれました。

貴重な体験から感じたり考えたりしたことは、これからの人生の中できっと大切な宝物として活かされていると思います。山本さんのお話を聞いて、皆さんはどう思い、どう考えたでしょうか。

